
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年6月19日号

©2009年5月における中国の油糧・食油市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年5月における油糧・食油市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 菜種の新規買い付け価格は低水準、国内食用植物油価格は引き続き上昇

2009年5月下旬に国内の新規菜種が市場に出回り始めたが、昨年の同価格と比較すると10～30%程度安く、買い付け価格は総じて高くない結果となった。2009年5月の湖北地区の四級菜種油の工場出荷価格は1トン当たり7,876元、前月比3.8%高・前年同月比33.5%安となった。山東地区の二級落花生仁（種子の中の食べられる部分。殻むき落花生）卸売価格は同5,306元で、前月比12.9%高・前年同月比37.8%安となった。同地区における四級落花生油の工場出荷価格は10,365元で、前月比14.8%高・前年同月比42.9%安となった。天津港におけるパーム油（融点24℃）のオファー価格は7,044元、前月比14.1%高・前年同月比30.7%安となった。

2 国際油糧及び食用植物油価格は引き続き上昇

2009年5月のカナダ産菜種のCNF価格（C&F価格、1990年の国際商業用語改正後はCFR価格：運賃込み価格＝FOB（本船渡し）価格＋運賃。以下同じ）は1トン当たり480ドル、前月比12.4%高・前年同月比31.8%安となった。米国の大豆油のCNF価格は889ドルで、前月比9.6%高・前年同月比29.9%安となった。マレーシアのパーム油（融点24℃）のFOB価格は824ドルで、前月比8.3%高・前年同月比35.1%安となった。

3 菜種の国内・外価格差は引き続き拡大、輸入大豆油の価格は依然として国内市場価格を下回る

2009年5月のカナダ産菜種の通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は1トン当たり4,019円で、国内菜種の工場入荷価格に比べ469元高くなった。米国メキシコ湾における大豆油のFOB価格は1トン当たり855ドルで、これを5,832元と換算すると、国内消費地区の国産大豆油価格に比べ1,663元低かった。また、山東省における輸入大豆油の通関渡し価格は7,362円で、当地の国産大豆油価格に比べ134元低かった。

4 2009年1～4月の食用植物油輸入は減少

海関統計によると、2009年4月の食用植物油の輸入量は前年同月比24.8%減の58万トンとなり、うち大豆油輸入量は同20%減の23.8万トン、パーム油輸入量は同31%減の40.5万トンとなった。2009年1～4月の食用植物油の輸入量は、前年同期比56.4%減の204万トンとなり、うち大豆油輸入量は同47.9%減の53万トン、パーム油輸入量は同3.5%減の177万トンとなった。